

# GSJ

地球をよく知り、地球と共生する

# 地質ニュース

2019  
**10**  
Vol.8 No.10



# 10月号

- 
- 257 **和歌山以南の温帯域が準絶滅危惧種のサンゴの避難場所として機能する？**  
**温帯サンゴの遺伝的多様性評価の結果から**

安田 仁奈・井口 亮・山北 剛久・中村 隆志

- 
- 261 **地質標本館の「さわれる岩石標本」展示の改修と解説**

辻野 匠・朝川 暢子・常木 俊宏・利光 誠一

- 
- 273 **2018 年度秋期地質調査研修報告**

内倉 里沙・内田 嗣人・小山 栄造・松岡 一英・  
松本 孟紘・山崎 誠子・鹿野 和彦

- 
- 277 **シリーズ「GSJ 筑波移転」を振り返って**

小松原 純子

- 
- 281 **受賞・表彰** 地質情報研究部門の石原丈実氏が米国物理探査学会の論文賞を受賞

- 
- 282 **新人紹介** 太田 雄貴・水落 裕樹・風呂田 郷史・菊池 亮佑

地質標本館  
2019年度  
特別展

日本初!

日本列島大分析

# 「元素で見ると地球化学図」

私達の足元には、どのような元素がどれくらい存在するのか。

それらはなぜそこにあるのか。そのような疑問への助けとなるのが「地球化学図」です。

全国8000か所で採取した試料を分析すると、

日本列島は地質を反映した様々な表情を見せてくれることが明らかになりました。

地球化学図で地域の特徴を探ってみましょう。

2019年

10月8日 火

2020年

1月5日 日

入場無料

開催場所：地質標本館 1階ホール  
開館時間：9時30分～16時30分  
休館日：毎週月曜日(休日の場合は翌平日)

※年末年始の休館12月28日～1月4日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター

GEOLOGICAL MUSEUM  
地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1  
TEL：029-861-3750,3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSC20190827

特別講演会

「地球化学図」  
の見方

10月26日 土

14時～(13時半開場)

- 講演者：太田充恒 (産総研 地質情報研究部門)
- 場所：映像室 ● 定員：60名

#### GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典  
副委員長 名和一成  
委員 井川怜欧  
児玉信介  
竹田幹郎  
落唯史  
小松原純子  
伏島祐一郎  
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター  
地質情報基盤センター 出版室  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

---

GSJ 地質ニュース 第8巻 第10号  
令和元年 10月 15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第7

印刷所

#### GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : Yoshinori Miyachi  
Deputy Chief Editor : Kazunari Nawa  
Editors : Reo Ikawa  
Shinsuke Kodama  
Mikio Takeda  
Tadafumi Ochi  
Junko Komatsubara  
Yuichiro Fusejima  
Rie Morijiri

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology  
Geological Survey of Japan  
Geoinformation Service Center Publication Office  
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

---

GSJ Chishitsu News Vol. 8 No. 10  
October 15, 2019

**Geological Survey of Japan, AIST**

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,  
Ibaraki 305-8567, Japan

## 北海道北部，天塩川上流に作られた岩尾内湖とそこから望む天塩岳

[cover photo](#)



岩尾内湖は1971年に天塩川の上流域に造られた大規模なダム湖である。この湖岸には日高帯最西端に位置し含銅硫化鉄鉱を胚胎する下川オフィオライトが露出しており、地質学的にも鉱床学的にも重要である。さらに天塩川は水源である天塩岳山麓まで連続する。天塩岳（標高 1,558 m）は後期中新世に噴出し熱水変質した安山岩～デイサイト溶岩からなる。道北では2番目に高い山として知られており、寒冷な高緯度地域であるため、写真が撮影された6月上旬でも山頂付近には雪渓が残っている。

（写真・文：産総研地質調査総合センター地質情報研究部門 七山 太）

The Lake Iwaonai built up in the upper stream of the Teshio River and Mt. Teshiodake seen from Lake Iwaonai, northern Hokkaido. Photo and Caption by Futoshi NANAYAMA